

須磨東高校の感染拡大防止対策について

- ◎ 登校時は、必ず検温と健康状態の確認をしてください。マスクの着用と咳エチケットをお願いします。
- ◎ 国から配布される布マスクを1人につき2枚配布します。今回は、その1枚を配布します。2枚目については学校に届き次第、配付予定です。利用してください。

1 健康チェックについて

- ・毎朝、家庭で検温および健康状態の確認をしてください。風邪症状や体調不良がみられる場合は、学校へ連絡し、自宅で休養してください。無理に登校することは控えてください。
- ・体温計が自宅にない場合は、登校時に昇降口で必ず検温をしてください。使用後は、アルコール消毒をしてください。密にならないよう、並ぶ場合は1m以上の距離を確保して待ってください。

2 手指の消毒について

- ・まずは流水と石けんで手洗いをすることが重要です。30秒しっかり洗ってください。
- ・手洗いのタイミングは、外から教室等に入るときやトイレの後、食事の前後です。
- ・全トイレに石けんを準備しています。順番に距離を確保して使用してください。
- ・教室前廊下に、2クラスに1個、アルコール手指消毒液を準備しています。
(1年3・4組、2年3・4組は教室が離れているため、クラスに1個)
- ・教室に入る前に、アルコールで手指消毒をしてから入ってください。アルコール消毒液は購入できない状況が続いており、今後も医療機関が優先です。適正な量で大切にしてください。

3 学校内の衛生管理について

- ・登校日は、机、イス、ドアノブ、電気のスイッチ、洗面所の蛇口、階段の手すり等を次亜塩素酸ナトリウムで事前に消毒します。
- ・教室の座席は1m以上の距離を確保して座ります。各クラス、午前と午後に分かれて分散登校します。(登校可能日)
- ・教室の前列1列目と教壇とのスペースを2m確保します。
- ・教室は常に換気し、教室と廊下の両側の窓を1つ以上同時に開けたままの状態でのHRを実施します。
- ・感染予防のため、使用したマスク等は校内で捨てずに持ち帰ってください。また、ペットボトル等のゴミも家庭に持ち帰ってください。

4 教室の中では

- ・生徒および教職員は、飛沫を飛ばさないよう、マスクを着用してください。
- ・教室内では、自分の使用する机とイス以外は、できる限り触れないようにしてください。
- ・電気のスイッチやドア等も不必要に触れないでください。
- ・生徒同士の近距離での会話は控えてください。対面で座らないようにしてください。

5 体調不良時は

- ・登校中に体調不良がみられたときは、無理に登校せず、その場で学校へ連絡してください。自分で帰宅できる場合は、引き返してください。
- ・学校で体調が悪くなった場合は、我慢をせず保健室へ早めに行きましょう。当面の間、保健室横の昇降口のスペースで問診等を行います。万が一、本校で感染者が確認された場合、濃厚接触者を増やさないためです。協力をお願いします。
- ・体調不良で早退する場合の帰宅方法について、家庭でよく相談しておいてください。緊急時の連絡先の確認もお願いします。

5月4日、新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえ、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を具体的にイメージできるよう、厚生労働省が実践例を示しました。

新型コロナウイルス感染症は、無症状や軽症の人であっても、他の人に感染を広げる例があります。新型コロナウイルス感染症対策には、自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。そのためには一人ひとりの心がけが何より重要です。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離がオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定